

# さつま町男女いきいき幸せプラン

男女共同参画社会

近年、私たちの生活は多様化しています。家事、育児、介護、地域活動や趣味・・・仕事をしながらをしたいなど、それぞれの事情や活動領域によって様々です。  
 老若男女あらゆる人々が、様々な活動を自分の希望するバランスで選択・実現できる社会になったら、一人ひとりがやりがいや充実感あふれる生活を送ることができるのではないのでしょうか。  
 そのような社会の実現をめざして、『男女いきいき幸せプラン』を数回に分けてご紹介します。  
 あわただしく過ぎる毎日、たまには振り返ってみませんか。

## 基本目標1

### 安心・快適うるおいのある家庭づくり

ともに協力し参画できる家庭づくりの促進

これまで女性あるいは男性が担って当然とされていたことに、家族全員で話し合い、家族の理解と協力のもと、その家庭なりのバランスのとれた生活スタイルを実現していきましょう。

夫婦など親密な関係にある男女間の暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）をなくしましょう。



ささやきさん



つぶやきさん

## ささやきさんからの質問

**つぶやき** 最近ある番組で『デートDV』って言葉を聞いたのですが、DVとはどう違うの？

**ささやき** 「DV」は夫婦や内縁関係など親密な関係にある人からの暴力で、「デートDV」は若い世代を中心とした恋人から受ける身体的、精神的暴力のことを言うんですよ。

**つぶやき** ええ！。どうして恋人なのに暴力を振るわれるのかなあ？

**ささやき** 男女とも「恋愛関係では束縛できる」って考える傾向が強くなってきているみたいだね。近頃は男性が女性から暴力を振るわれるケースも多くなっているそうですよ。

**つぶやき** 私はそんなことしないから大丈夫!!

**ささやき** もし、「DV」や「デートDV」で悩むようなことがあったら、次のところに相談すればいいですよ。

- 女性の人権ホットライン（鹿児島地方務局） ☎099-259-7855
- 鹿児島県男女共同参画センター ☎099-221-6630
- さつま町役場 福祉課 ☎53-1111（内線2132）



写真は川内川轟大橋下流部左岸側 轟之瀬



# ふるさと歴史探訪

このコーナーは、ふるさとの歴史や文化財などを紹介します。※2ヶ月に1度の掲載となります。

シリーズ①

## 天保の川浚え工事

江戸時代、川内川には、河口から宮之城まで船便がありました。しかし、それより上流は、轟之瀬や神子轟、その他大小の瀬があり船便の航行ができませんでした。そのため、伊佐地方の農民たちは、年貢米を陸路で馬の背に乗せて宮之城まで運んだといわれています。道路も悪く、出費もかさみ、多くの農民は困っていたそうです。

このため、薩摩藩では、曾木の滝下から宮之城の轟までの舟便ができるように、天保13年（1842年）から、川内川の川浚え工事を行いました。

当時の工事監督者であった大口の西原八幡の宮司 堀之内良眼は、自ら鉄の大きななづちを振るって岩石を砕き、工事の成功を祈ったといわれています。

工事は困難をきわめたため、多くの石工や人夫が苦勞したそうですが、翌年の天保14年（1843年）に工事は無事終了しました。当時の工事のことを、石工が歌ったという俗謡（よのえ節）が今も残っています。

### 石工が歌った俗謡（よのえ節）

- 一つとノーオヨノエ 人も通はぬ巖石を 鉄矢をかけて巻崩すイエイイかいな
- 二つとノーオヨノエ 二人頼んだ石工は 上賃取らして下知ばかり 楽かろかいな
- 三つとノーオヨノエ 宮之城川原の茶屋店は 御蔵がなおりて茶屋たため めいわくかいな
- 四つとノーオヨノエ 漸く此の川掘り流す 大上様の御心配 金銀かいな
- 五つとノーオヨノエ 何時来て見ても良眼坊 あちらこちらに気を使う 山伏かいな
- 六つとノーオヨノエ 六つから六つまでツビ（水中）に入る 雪霜霰の降る時は 寒かろかいな
- 七つとノーオヨノエ 流れる舟なら私しものる 上る舟なら私しやのらぬ むらかろかいな
- 八つとノーオヨノエ 山を払おて地をひいて ここがお蔵の建つ所 棹うとかいな
- 九つとノーオヨノエ 此所までお舟が上がるなら 酒と肴を積みのほしゅ（積み上げを）頼もうかいな
- 十とノーオヨノエ ところろ落ちるは曾木の滝 何時来てみても景色のよさ 岩映えかいな